

とうきょう すくわくプログラム活動報告書①

1. 活動のテーマ

<テーマ>

インコ・昆虫の飼育

<テーマの設定理由>

セキセイインコ“ホサナ”の明るい声に心も身体も癒やされている子どもがいる
公園で捕まえたカブト虫やクワガタ虫の命のつながりを経験できる、豊かな自然の中に立地している

近隣の方が蝶の幼虫や蛹を見つけると届けて下さり、羽化を見守り、羽ばたいて行く様子を心に焼き付けている子どもがいる

2. 活動スケジュール

園庭の食べられる葉を摘んで、園児がインコに食べさせる
かごの隙間に指を差し入れ、インコがつま先をついばむ様子を楽しむ
カブト虫・クワガタ虫の幼虫の飼育ケースをのぞき込み、霧吹きをする
成虫になったら飼育環境を整え直し、えさ・水分を欠かさず与える
蝶の幼虫の蛹から成虫への変化を見守る
カブト虫・クワガタ虫の命が繋がっているのか？楽しみに待つ

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動のために用意したもの

インコのえさ 自家製ほうれんそう

飼育ケース 霧吹き 土 昆虫マット カブト虫ゼリー 餌台（木）

緑の葉なら何でも、また枯葉も食べさせようとする子どもたちに、インコの身体が喜ぶ葉を教えていく

色々考え、家から飼育ケースを持ってくる子ども、虫に詳しい大きい子どもに必死で質問をする小さい子どもがいて、年齢を超えて夢中になる姿が見られた



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

生き物の成長に触れることが大好きな子どもがいれば、そうでない子どももいる
「なんだろう？」「どうしてだろう？」「すごいね！」そして生き物を大切にする、
このように心が将来に渡って動いていく経験をひとりでも多くの子どもにさせたいと
改めて思う